医療法人社団 医啓会広報誌

医啓会だより

VOL.21

発行元
医療法人社団医啓会
責任者
松本　正道
発行日
2023年11月1日

町医者のつぶやき NO.13

腰・膝の痛みや頭痛などで生活や仕事に支障をきたしている人のための鎮痛剤ですが…、せっかく処方しても服用されない方がおられます。何故なのか…その原因を考えてみました。

医療法人社団
医啓会理事長
松本クリニック
院長
松本 正道

変形性腰椎症で腰痛が強く日常生活ができない人、頭痛が強くその日は仕事ができない人など、痛みが強くせっかく処方しても「我慢しました」「昨夜寝られませんでした」と言われて複雑な気分になっています。なぜ服用されないのか…主な原因は次のようなことが考えられます。

1．耐性ができて薬が効きにくくなりそう

用法、用量を守って服用すれば耐性はできません。

2．漫然と体に負担をかけたくない

3．胃に負担がありそう、胃が痛くなった

耐性は大丈夫？　体に負担は？

詳しくお答えしますので、ぜひ最後までお読みください。

胃は大丈夫？

鎮痛剤には 非ステロイド性鎮痛剤(NSAIDs) (ボルタレン、ロキソニン) や アセトアミノフェン (カロナール、アセトアミノフェン) があります。 NSAIDsはプロスタグランジンという物質の生成を抑えることで炎症や痛みを抑えますが、胃腸障害や腎臓障害などの副作用があることが知られています。一方、アセトアミノフェンは NSAIDsに比べて胃腸障害のリスクが少ない薬剤でいずれの薬剤も胃粘膜保護剤を一緒に服用すると胃腸障害が少なくなります。

4．眠くなった

眠くなりそう

「痛みを取る以外に感じた症状」を聞いてみたところ、半数以上の人が「特に症状はなかった」と答えた一方 眠くなった (17.8 %)、頭がぼーっとした (13.0 %)、胃が痛くなった (10.8 %) でした。市販薬の鎮痛薬の中には、痛みをおさえる効果を助ける「アリルイソプロピルアセチル尿素、プロモバレリル尿素」などの鎮痛補助成分を含むものがあります。これらの成分は、副作用として眠気を催す場合があるので、眠くなっては困る時には要注意！…しっかりパッケージを確認して、眠くなる成分を配合していないものを選びましょう。医療機関で処方される鎮痛剤には含まれません。

痛み始めたら我慢せずに、早めに鎮痛剤を飲むことをおすすめします。

「痛み」は体に起きた炎症を脳に伝えるための重要なサイン。このサインを無視して痛みを我慢し続けると鎮痛剤が効きにくくなったり、体にストレスがかかります。
炎症が起こると、痛みの原因となる「プラジキニン」と、痛みを強める「プロスタグランジン」という物質が増えます。鎮痛剤は、痛みを強める「プロスタグランジン」の発生をおさえてくれます。
ところが、痛くなった初期の段階で痛みを我慢してしまうと「プロスタグランジン」が大量に発生し、その後に鎮痛剤を飲んでも、痛みをおさえる効果が少なくなる あるいはより多量の鎮痛剤が必要となります。からだのためにという我慢が からだに負担をかけることにもなりますので、痛みを感じたら早く鎮痛剤を服用することが大切です。

お知らせ

インフルエンザ感染者増加中（予防接種受付中）

コロナウィルス、感染性胃腸炎にも要注意

予防対策　ワクチン接種　・　換気　・マスクの活用　・　うがい･手洗い　・　早期受診

お早目の接種をおすすめします

人生１００年時代の健康管理に、急性・慢性疾患の早期発見に、三大疾病対策に

人間ドックをお勧めします

医療法人社団医啓会
松本ホームメディカル
クリニック 外科・内科

日本外科学会外科専門医
腹部救急医学会認定医
難病指定医
医学博士　松本 正孝

人間ドックと健康診断はどう違うの？ と疑問を持たれる方は多いと思います。どちらもご自身の体の状況をチェックするという意味合いでは同じですが検査の内容が大きく異なります。
採血でも健康診断よりもより多くの項目を調べることができます。そのため自費にはなりますが、補助金を出してくれる自治体もあります。当院の人間ドックの特徴は採血での項目以外に、胃カメラ、大腸カメラだけでなく 80列CTを使ったより高精度の画像診断や、大腸カメラに抵抗がある方には 大腸CTを用いて便潜血ではわからないポリープや腫瘍を見つけることができます。健康増進の動機づけという意味合いだけでなく、生活指導による一次予防、早期発見・早期治療による二次予防への道筋をつけ健康寿命をどんどん伸ばしていきましょう。

「予防」と「治療」の両輪で

医啓会は地域密着型の医療とともに新しい設備や技術を活用した予防医学にも力を入れています。

不安や苦痛の少ない検査

不安、吐き気、痛みなど検査に伴う苦痛の低減に努めています。

日帰りです

所要時間は約６時間空いている時間や仕事の合間でも受けていただけます。

血液検査

自分では気づかない体の状態を広範囲に知ることができます。疾病の有無や進行状況、治療効果などを調べます。

心機能検査

心臓の活動状況を調べる重要な検査です。
不正脈、心房・心室の肥大、虚血性心疾患、心筋疾患などを発見します。

経鼻内視鏡検査

身体的負担を軽減するため経鼻内視鏡検査を採用しています。挿入時につらさや吐き気が少なく、検査中に画像を見たり医師と会話ができるため、説明を受けながら確認できます。

80列CT検査

心臓疾患や脳血管障害などの早期発見、大腸内視鏡検査に不安や苦痛を感じる方におすすめの 大腸CT検査など、従来の 64列CTと比べ威力を発揮します。

お問い合わせ・ご予約は

院内受付 または 078-982-1116 まで

検査項目		３コースあります		
選択	**便潜血**（２回）	○		
	大腸CT（CTで検査）		○	
	大腸内視鏡（内視鏡で検査）			○
内科　内科的診察		○	○	○
身体検査　身長、体重、BMT、血圧		○	○	○
視力・聴力検査		○	○	○
尿検査　尿検査一般		○	○	○
血液学的検査　末梢血一般、血液型		○	○	○
血液生化学一般 総蛋白、総ビリルビン、GOT、GPT、LDH、ALP、Γ-GTP、CPK、アミラーゼ、NA、CL、K、尿酸、BUN、クレアチニン、Ca、鉄、P、中性脂肪、総コレステロール、LDLコレステロール、糖、HbA1c		○	○	○
血液免疫学的検査 TPHA、RA、HBsAg、HCV抗体、CRP		○	○	○
腫瘍マーカー AFP、SCC、CEA、CA19-9、PSA(男性) CA125(女性)		○	○	○
心機能検査　BNP		○	○	○
心電図		○	○	○
ABI（血圧脈波検査）		○	○	○
全身CT 頭部、腹部、胸部+内臓脂肪測定		○	○	○
胃内視鏡（胃カメラ） ※生検病理が必要な方は別途費用		○	○	○
ピロリ菌検査		○	○	○

※医療専門用語で表示しています。詳しくはお気軽にお尋ねください。